

# やた はな組

2016/1/13 (水)、第11回「やた はな組」を開催しました。  
その時の様子を簡単に報告させていただきます!!

矢田圏域勉強会「やた はな組」を東住吉区南部文化コミュニティーセンターにて開催しました。

今回は「介護と医療」の勉強会として、矢田圏域で働かれているケアマネ、ヘルパー、訪問看護のみなさんに参加いただきました。

「最期まで自分らしく生きるには」支援者として市民として考えてみませんか?と題し、「訪問看護ステーションたちばな」の



丹後所長の講義

丹後所長から、「エンドオブライフ・ケア」の考えたかについて講義いただきました。

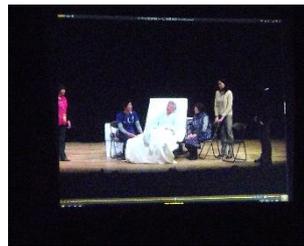
看取りの役割主体が病院になり、身の回りから死が見えなくなった現在。しかし高齢化が急増し、病院の機能や役割も変わっていく中で、最期をどのよう

に迎えるか、それまでどう生きるかを考えることが大切になってきました。

住み慣れた地域・自宅で、自分らしい暮らしを続けていくには、住まい・医療・介護・生活支援が一体的に行えるようになることが重要です。

そういう環境を整えるには、本人や家族の希望・意向を聞き取り、介護と医療が同じ支援の方向を目指し、話し合えるようになる。

そのために医療と介護の援助者には、人生の最終段階の支援ができる人材の育成が必要です。



今回の勉強会は、より多くの方に聴いていただきたく、昼間の勤務時間内では、みなさんの参加が難しいのではないかと勤務を終えてから18時30分から開始 20時30分の閉会といたしました。

夜間の寒い中、たくさんの方に参加いただき、矢田圏域で働かれる専門職のみなさまの向学の姿勢に頭が下がります。



「やた はな組」では、できるだけ参加された方々に、自分の考えを自分の言葉で話していただき、他の人の意見も聞き、何らかの答えは参加者が自ら導き出してもらいたいと考えています。

そのうえで、地域における支援の担い手として、一人一人が力をつけていただけたなら、矢田の地域にとって、何より心強い存在になっていただけたことと思います。

ご協力いただいた訪問看護ステーションたちばな：丹後所長、参加いただいた専門職のみなさん ありがとうございます。

次回「第12回 はな組」にも、みなさまの参加をお待ちしています。

「やた はな組」は、参加される皆さんの意見を反映させ、自由につくっていきたいと思っています。皆さんの要望や意見もお聞かせください!!

矢田地域包括支援センター  
電話 06-6694-5552 E-mail houkatu@karan.or.jp